

マレーシア 深海R鉱区の権益一部譲渡について

各位

当社(社長:三宅俊作)が100%出資するJX日鉱日石サバ深海石油開発株式会社(社長:和佐田演慎、以下「JXサバ深海」)は、マレーシア 深海R鉱区(以下「本鉱区」)において、オペレーター(操業管理会社)として探鉱事業を推進しておりますが、このたび、当社事業ポートフォリオ戦略の一環として、JXサバ深海が保有する本鉱区権益37.5%の一部(10%)をオーストラリアの石油・天然ガス開発会社Santos Limitedの子会社Santos Sabah Block R Limited.へ譲渡しましたので、お知らせします。

なお、本鉱区のパートナーであるインペックス南西サバ沖石油株式会社(以下「インペックス南西サバ沖石油」、国際石油開発帝石株式会社の子会社)も同じく保有権益37.5%の一部(10%)をSantos Sabah Block R Limited.に譲渡しており、これら権益譲渡後の本鉱区参加各社の権益比率は、JXサバ深海27.5%、インペックス南西サバ沖石油27.5%、ペトロナスチャリガリ(マレーシア国営石油ペトロナスの子会社)25%およびSantos Sabah Block R Limited.20%となります。

本鉱区は、マレーシア・ボルネオ島沖合に位置する水深100m~1,400m、面積約672km²の深海探鉱鉱区で、本鉱区が位置する海域周辺では複数の大規模油田が発見されております。本鉱区では、2012年1月の鉱区取得後、3次元地震探鉱作業等を実施し、試掘井掘削に向けた準備を進めており、2015年に3坑の試掘井を掘削いたします。JXサバ深海は、パートナーとともに本鉱区の探鉱事業を着実に進めてまいります。

当社は、マレーシアにおいて、本鉱区での探鉱事業に加え、ボルネオ島沖SK10鉱区における天然ガス生産・開発事業およびボルネオ島沖深海2F鉱区における探鉱事業を、オペレーターとして推進しております。また、ボルネオ島沖SK8鉱区での天然ガス生産事業、マレー半島沖PM308A鉱区およびボルネオ島沖深海3F鉱区の探鉱事業にも共同事業パートナーとして参画しております。

当社は、マレーシアをコア事業国の一つと位置付けており、新規事業機会の獲得も含め今後も同国での石油・天然ガス開発事業を積極的に展開してまいります。

【プロジェクト概要】

(1) 鉱区名 : マレーシア 深海R鉱区

(2) 鉱区面積 : 約672km²

(3) 鉱区取得 : 2012年1月17日

(4) 権益比率(権益譲渡後):

JXサバ深海	27.5%(オペレーター)
インペックス南西サバ沖石油	27.5%
PETRONAS Carigali Sdn. Bhd.	25.0%
Santos Sabah Block R Limited.	20.0%

以上